

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院
令和7年度 業務の実績に関する評価（意見）

令和8年 8月

岐阜県

I 法人の概要

1 法人の現況

(1) 法人名称

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地

岐阜県下呂市森2211

(3) 設立年月日

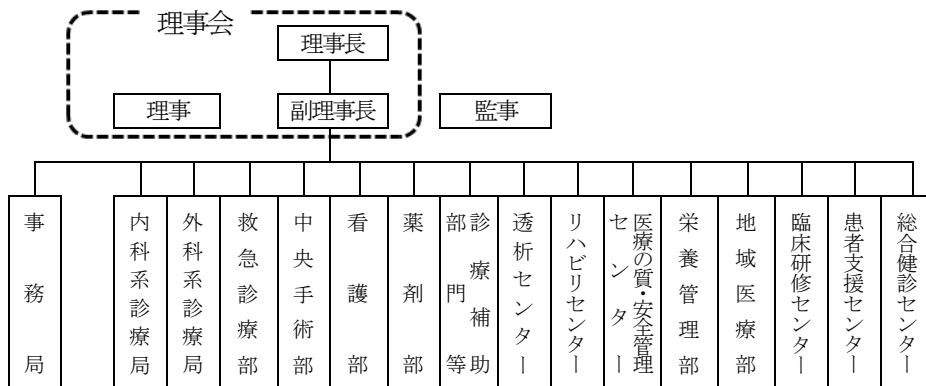
平成22年4月1日

(4) 役員の状況

(令和7年4月1日現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	大平 敏樹
副理事長	常勤	天岡 望
理事	常勤	西垣 和彦
理事	常勤	高野 朋治
理事	非常勤	大塚 正義
監事	非常勤	堀 雅博
監事	非常勤	井上 学

(5) 組織図



(6) 職員数 (令和7年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	計
医師・歯科医師	22	※ 4	26
看護師等	156	46	202
コメディカル	60	9	69
事務等	25	49	74
計	263	108	371

※医師1人を除きフルタイム勤務

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、飛騨圏域南部の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

また、COVID-19への対応においては、多くの患者受入を行うなど、地域で中核的な役割を果たしてきた。

令和2年度から令和6年度までの第3期中期目標期間においては、より質の高い医療サービスを提供するため、医師等医療従事者の確保の取組等の地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営や医療ニーズに応じた病床再編に努めたものの、経営指標の目標達成は厳しい見通しとなった。

他方、医療を取り巻く環境は厳しさを増している。少子高齢化が進行する中で、下呂地域では既に高齢者人口もピークを迎え、すべての年齢層が減少する局面にあり、大きな医療需要の変化にも対応できるよう医療提供体制の再構築が必要である。さらに、医療従事者の不足・偏在、働き方改革への対応、新興感染症の発生・まん延を見据えた体制の整備も必要である。

このため、第4期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応しつつ、第3期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の向上と持続可能な病院運営に努め、飛騨圏域南部の基幹病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供や地域の医療機関との連携により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

平成 26 年 5 月に新築移転した新病院の機能を活用し、飛騨南部地域における中核病院として、下記の役割を担う。

- ・ 地域医療の教育・研究（地域医療研究研修センターの機能）
- ・ へき地医療の提供と支援
- ・ 高度急性期医療の提供
- ・ 地域災害医療の提供
- ・ 終末期医療（入院・在宅）の提供
- ・ 医療従事者の確保
- ・ 地域医療機関等との連携

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地（平成 26 年 5 月 1 日から）

岐阜県立下呂市森 2 2 1 1

(3) 沿革

昭和 28 年 7 月 1 日 岐阜県立下呂病院 開設

昭和 35 年 5 月 4 日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」

平成 26 年 5 月 1 日 下呂市森へ新築移転

(4) その他(令和 7 年 4 月 1 日現在)

主な役割 及び機能	○ へき地中核病院 ○ へき地医療拠点病院 ○ 救急告示病院 ○ 病院群輪番制病院 ○ 臨床研修指定病院
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部・心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
許可病床数	198 床（一般：170 床 療養：28 床）
看護体制	7 対 1、10 対 1（地域包括ケア病床及び回復期病床については、13 対 1）
年間延患者数 (R 7 実績)	入 院 45,579 人 外 来 60,143 人

建物面積	19,594 m ²
理 念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。
基本方針	1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。

Ⅱ 全体評価

○ 総評

【総合的な評価】

「 B（中期目標の達成に向けておおむね順調な業務の進捗状況にあるが、一部で十分な成果が得られていないため、一層の努力が望まれる） 」

【評定の区分】

段階	説 明
S	中期目標の達成に向けて特筆すべき業務の進捗状況にあり、目標を上回る優れた成果が期待できる（特記事項の内容等を勘案し、評価委員会が特に認める場合）
A	中期目標の達成に向けて順調な業務の進捗状況にあり、現行の努力を継続することで、目標を十分に達成することができる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調な業務の進捗状況にあるが、一部で十分な成果が得られていないため、一層の努力が望まれる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れているため、目標を達成するために相当の努力を要する
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがあることから、目標を達成することが極めて困難である

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組の状況

1-1 診療事業

<特筆すべき事項>

リハビリテーション患者実数の増加は評価できる。

人材が集まらず大変とは思いますが、引き続き頑張ってください。

看取り体制等の対応の支援を、今まで以上に期待している。

紹介率・逆紹介率の向上、クリニカルパスの導入について、より努力されたい。

リハビリ実績については評価できる。

回復期リハ及び在宅復帰への協力をお願いしたい。

1-3 教育研修事業

<特筆すべき事項>

学生実習受入は医、看ともにぜひ体制を維持してほしい。

1-4 地域支援事業

<特筆すべき事項>

開放型病棟を広げて、近隣の医師からの在宅療養時の一時的な入院にも対応していただきたい。

情報発信については、人材確保の面でも継続が望ましい。

1-5 災害発生時における医療救護

<特筆すべき事項>

引続き、地域救急医療の要としての働きを期待している。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組の状況

2-1 効率的な業務運営体制の確立

<特筆すべき事項>

部署間での支援時間に大きな変化がみられている。

臨床研修指定病院であるため、基本診療科の人材確保に努めてほしい。

研修参加の状況を示した方がよい。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善

<特筆すべき事項>

経費節減に努めている。

病床利用率が改善してきている。

レスパイト入院、重度医療が必要な在宅患者のショートステイにも対応していただきたい。

一日人間ドックやMRI の増加に、より一層力を入れていただきたい。

ジェネリック使用率増加は評価できる。

人件費の削減が必要。

3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画の状況

<特筆すべき事項>

目標達成に向け、さらなる努力が望まれる。

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

<特筆すべき事項>

岐阜県及び他の地方独立行政法人とのさらなる連携に期待したい。

Ⅲ 項目別評価 ―中項目ごとの検証結果の概要―

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

【中項目ごとの検証結果の集計】

	検証 対象 項目数	I 年度計画を 大幅に下回 っている	II 年度計画を 下回ってい る	III 概ね年度計 画どおり実 施している	IV 年度計画を 上回ってい る
診療事業	5			5	
調査研究事業	2			2	
教育研修事業	2			2	
地域支援事業	3			3	
災害等発生時にお ける医療救護	3			2	1
後発医薬品の使用 率向上	1				1
合計	16			14	2

【検証結果の概要】

1－1 診療事業

リハビリテーション患者実数の増加は評価できる。(項目番号 03)

人材が集まらず大変とは思いますが、引続き頑張ってください。(項目番号 03)

看取り体制等の対応の支援を、今まで以上に期待している。(項目番号 04)

紹介率・逆紹介率の向上、クリニカルパスの導入について、より努力されたい。(項目番号 04)

リハビリ実績については評価できる。(項目番号 05)

回復期リハ及び在宅復帰への協力をお願いしたい。(項目番号 05)

1－3 教育研修事業

学生実習受入は医、看ともにぜひ体制を維持してほしい。(項目番号 09)

1－4 地域支援事業

開放型病棟を広げて、近隣の医師からの在宅療養時の一時的な入院にも対応していただきたい。

(項目番号 10)

情報発信については、人材確保の面でも継続が望ましい。(項目番号 12)

1－5 災害発生時における医療救護

引続き、地域救急医療の要としての働きを期待している。(項目番号 15)

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

【中項目ごとの検証結果の集計】

	検証 対象 項目数	I 年度計画を 大幅に下回 っている	II 年度計画を 下回ってい る	III 概ね年度計 画どおり実 施している	IV 年度計画を 上回ってい る
効率的な業務運営 体制の確立	7			7	
業務運営の見直し や効率化による収 支の改善	3			3	
合計	10			10	

【検証結果の概要】

2－1 効率的な業務運営体制の確立

部署間での支援時間に大きな変化がみられている。(項目番号 18)

臨床研修指定病院であるため、基本診療科の人材確保に努めてほしい。(項目番号 20)

研修参加の状況を示した方がよい。(項目番号 23)

2－2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善

経費節減に努めている。(項目番号 24)

病床利用率が改善してきている。(項目番号 25)

レスパイト入院、重度医療が必要な在宅患者のショートステイにも対応していただきたい。
(項目番号 25)

一日人間ドックやMRI の増加に、より一層力を入れていただきたい。(項目番号 25)

ジェネリック使用率増加は評価できる。(項目番号 26)

人件費の削減が必要。(項目番号 26)

3 予算(人件費の見積含む)、収支計画及び資金計画

	検証 対象 項目数	I 年度計画を 大幅に下回 っている	II 年度計画を 下回ってい る	III 概ね年度計 画どおり実 施している	IV 年度計画を 上回ってい る
財務内容の改善に 関する事項	1		1		

【検証結果の概要】

目標達成に向け、さらなる努力が望まれる。(項目番号 27)

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

【中項目ごとの検証結果の集計】

	検証 対象 項目数	I 年度計画を 大幅に下回 っている	II 年度計画を 下回ってい る	III 概ね年度計 画どおり実 施している	IV 年度計画を 上回ってい る
職員の就労環境の 向上	1			1	
岐阜県及び他の地 方独立行政法人と の連携に関する事 項	1			1	
施設・設備の整備	1			1	
内部統制の充実強 化	1			1	
法人が負担する債 務の償還に関する 事項	1			1	
合計	5			5	

【検証結果の概要】

岐阜県及び他の地方独立行政法人とのさらなる連携に期待したい。